

右耳近く

(akr_0370) あかふ「…………ねじねこ、今田せ」「あくねい。」

(akr_0371) ねから「あかり、調子に乗り過かわやつて……ねわんぜ、疲れちやつたよね……おじさんが元気にぴゅつぴゅしてくれるのが嬉しくて……つい……」

(akr_0372) あかつ「れじやあ、働いた時よりも疲れかやつよね……反省……してます……」

(akr_0373) あかり 「でもい、でもねい、ほんとに嬉しかったのい
おじさん、がぴゅつぴゅして、くれると、あかりは、「」に
いともいいんだつて、じつ気持ちになれて」

(akr_0374) あかり 「あかり、ずっと怖かつたから。そのうち、おじさんには嫌われちゃうんじゃないかなって働いてた時の方が楽しかつたって思われちゃうんじゃないかなって」

いとも必死で……

(akr_0376) あかり「……ねえ、おじさんは働くのをやめて後悔しないで、あかりといっしょにじて乐しい~」

(akr_0378) あかつ「おじいちゃんにはね、す」く感謝してぐるの……だつて、正体もよくわからないあかりを、いつやつてやばに置いてくれて……優しく頭も撫でてくれて……」

(akr_0379) ねかり「普通は、もひと怪しみだりするものでしょ? なの?」
ねじさんはあかりの「」とを疑ひたりしなかつたもんね……」

(akr_0380) ねかり「……ねじさん、あかりがど?」から来たか知りたい?
ど?」の誰なのか気にならない?」

(akr_0381) あかづ「ああ、」めぐね。わゝ今田は腰こすね、こゝをここに腰こすね
あかづ「あかづから出したもぐね。」

(akr_0382) あかづ「ここが、寝付くまで、見守つてゐね。」

(akir_0383) あかり

(akr_0384) あかり 「…………ねじねえ? もう寝ねやうだ? 」

右耳近づ（前ページの続き）

(akr_0385) あから「 ふ~ん、寂わやつだんだ……今日せこいせこ丑かずい」わから見せてくれたがどう……おひくつ休んでね……」

(akr_0386) あから「 ………」

(akr_0387) あから「 ……ねじねこは氣むづくなじよね。毎日、動いてた時にあから真トを歩いたの……」

(akr_0388) あから「 今供の頃に、ねじねこがあからを歩いたとくわ~」

(akr_0389) あから「 他の子供たちが遊びであかりを傷つせよ~うつされ~」

かせい~てくれたよ~」

(akr_0390) あから「 ……桜を傷つけたら向原櫻だつて」

(akr_0391) あから「 あの時か~か~じつか、恩返しをしたいつて思つてたの……ふ~ん、」んな語をしたつて信じわ~りえなじよ~」

(akr_0392) あから「 確か、鶴の恩返しひていうお話があつたけど……わ~か、桜が恩返しをしひるなんて……」

(akr_0393) あから「 ……あかり、」のあまねじねこはねのかな。じトイ、じトイのかな……」

(akr_0394) あから「 あからせ……じいしーせりこだらめ。」の先せ、先いと……」

(akr_0395) あから「 ねえ、ねじねこ……あからせねじねこ~うい、さ~いよ~はな~」

※SE：衣擦れ&朝チューのSE：布団がば~一。

※SE：ドア開閉&足音

※SE：グッズ転み（座る）

※回想

あかり『……あかり、このおまねじさんのがにこられたのかな。じトイ、いいのかな……』

あかり『あかりは……いいしょにいたいよ。」の先も、ずいぶん……』

あかり『ねえ、おじさん……あかりはおじさんじとつて、ひつよ~うな子~』

※SE：グッズ転み（立つ）

※S E : 足音
※S E : 玄関のドア開く

正面・通常

(akr_0396) あかこ「 もやいーーー、ね、ねじねじねーーーだねー。
トト！」と勢いドドドトお囃子立て……」

(akr_0397) あかこ「え、あかこー、ほひ、今日ひトイに何處かある、
ダンボールを捨ててこゝ田んじゅうへ。」

(akr_0398) あかこ「 だから、あかりが入ってたダンボールを捨ててました。
あれ、すうと邪魔だつたもんね」

(akr_0399) あかこ「う、しなくなつたと感ひたつて、あかりが?
“おーおーおーおー”

(akr_0400) あかこ「 あかりは、すうとおじねーのやせこーねもー。
やつ決めたんだもー」

(akr_0401) あかこ「桜の精靈い、何れれい。
おじれい、まだ寝迷うてゐるやうやなーい」

※S E : がばーーー

左耳近く

(akr_0402) あかこ「 わーーー、ね、ねじねーーー、壁に押しつぶされだい。
びーくさすねーーー」

マイクに背中を向ける（移動しながら）

(akr_0403) あかこ「それよーーー」

※S E : 玄関のドア閉める

マイクの方を振り返りながら

(akr_0404) あかこ「 今田はまだおひいこにならよねー。
.....じやあ、また朝からひきりひきりねー。」

(akr_0405) あかこ「 あかりがいなごと、おじさんもかんとおひいこだめな、
もんねー、あかこの」とが必要でしょー。」

右耳騒ぐ

(akr_0406) あかう「 今度はあ……あかうのねこひー」も圓鏡みてほしいな……
ねじせんみたいに、皿のひめいひめでもない仕事……」

(akr_0407) あかう「 ……ねー。じへしゃにねこひー」かねだるいの馬鹿でござる。」

正面近づく

(akr_0408) あかう「 ……ふふひ。ねじせん大好きへ、
いの先もずっと一緒にだからねへ。」

※END